

提出 2008年 12月 2日

## 会合議事録

研究会名：X線トポグラフィ研究会

日時：2008年10月31日（金），19:00-21:00

場所：東京国際交流館 会議室4（4F）

出席者：（議事録記載者に下線）

飯田敏，梶原堅太郎，川崎 宏一，木村邦夫，木村滋，小島 謙一，志村考功，田平泰規，向林祐，山口博隆

計10名

議題： X線トポグラフィ関連BLの改造計画とX線トポグラフィの近未来展望

議事内容：

\*飯田敏（富山大学）氏より，第2期目の活動，今回の会合のプログラム説明があった。

\*参加者全員による自己紹介があった。

\*志村考功氏（大阪大学）よりトポグラフィ関連の実験ステーションの改造計画（案）について経過の説明があった。

・BL20B2とBL28B2の改造について八木氏と志村氏，梶原氏の3氏で面談（6月4日にSPring-8で）

・BL20B2の改造についてのより詳しい上杉氏の提案内容（7月3日）

・第1回研究会でX線トポグラフィ関連BLの改造計画(案)について，対応を協議（8月1日に大阪大学で）

・BL20B2とBL28B2の改造について八木氏，上杉氏と志村氏，梶原氏，木村氏，飯田氏の6氏で面談（8月5日にSPring-8で）

\*飯田氏より10周年記念出版に関して提出した原稿「X線トポグラフィの近未来展望」の内容説明があった。内容が一般的，抽象的，広範囲であることから，今後内容の具体化，定量化，絞込みを行い，スタディやBL高度化への具体的提案に結び付けたいので，意見を出して欲しいとの要請があった。空間分解能の向上策について若干の意見交換をした。時間の都合でこの件は次回研究会までの宿題となった。

\*梶原堅太郎氏（JASRI）よりBL28B2の現状と2009A期の課題申請について説明があった。

- ・2008A 期における課題実験の実施状況について説明があった。
- ・2009A 期の課題申請について、実験の実施時期（2009 年 4 月-7 月）、課題締め切り（2008 年 12 月 11 日）の説明があった。

\*川崎 宏一氏（新居浜高専）より、氏が鉄鋼協会の会報「ふえらむ」に執筆した記事を元に「X線CT」に関する研究紹介があった。ラボラトリーでのX線CTと放射光CTの例が紹介された。ラボのCTで80keVのX線を用いて数ミクロンの空間分解能が実現されているとのことであった。

\*参加メンバーによる総合討論を予定していたが、十分な時間が取れなかった。  
志村氏より、11月27日につくばのPhoton Factoryで開催される講習会「放射光を用いた結晶評価の新展開 ～X線トポグラフィーによる半導体評価を中心として～」の案内と参加要請があった。飯田氏より来年1月の放射光学会のときに研究会会合を企画したいとのアナウンスがあった。

以上